

■ 地域の発展に寄与する砂防事業

- ・ 大源太川を含む魚野川上流域における砂防事業の進展により、地域の土砂災害に対する安全度が向上するとともに、安全に利用できる空間が増え、土地の高度利用が可能になりました。
- ・ 安全度の向上に伴って地域開発が促進され、首都圏からの交通利便性などとも相まって、湯沢町は国内有数の観光地に数えられるほどに発展しました。

昭和23年頃の状況



現在の状況



[湯沢町の状況] 昭和10年

- 市街化面積：40.93 km²
- 人口：6,688人



昭和23年アイオン台風の被災状況



昭和10年 湯沢町での土砂氾濫状況

[湯沢町の状況] 平成27年

- 市街化面積：54.13 km²
- 人口：8,144人

- ・ 観光客数：433万4千人 (人口一人当たり比率532人)
 - ・ 一人当たり年間所得：3,822千円
 - ・ 関越自動車道：約11,000台/日*
 - ・ 国道17号：約13,000台/日*
- ※ 平日平均24時間交通量

砂防施設
堰堤35基、魚野川流路工 等

大源太川第1号砂防堰堤

